

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名                         |    | 公表日                                                                                                                                                  |    |     |                                                                                                                |                                                                              | 令和8年10月14日 |
|------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------|
| こども家族みらい応援団 オパフロ（放課後等デイサービス） |    |                                                                                                                                                      |    |     |                                                                                                                |                                                                              |            |
|                              |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                                                                                        | 課題や改善すべき点                                                                    |            |
| 環境・体制整備                      | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 6  | 0   | ・室内でのボール遊び等配慮が必要なものもあるが、その時の状況によって場所を分けたり等工夫している。                                                              | 個室がないため、必要に応じたパーティション等間仕切りの設置を検討し、落ち着ける場所を確保したい。                             |            |
|                              | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | 6  | 0   | ・適切である。<br>・経験豊富な職員をプラスα配置しており、職員同士連携している。                                                                     | 基準よりも多く職員を配置しているものの、それでも急な欠勤等あった際は体制が弱くなってしまうことから、職員の新規採用も検討。                |            |
|                              | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 6  | 0   | ・子どもに分かりやすい構造になっている。<br>・ドアは全て引き戸で、床に段差はなく、バリアフリー。                                                             | ・収納スペースが少ない。<br>・掲示物により、『こどもが見て分かる資格支援』に取り組む。                                |            |
|                              | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 6  | 0   | ・毎支援終了後は清掃やアルコール消毒を行い、モップがけもしている。                                                                              | ・夏場、遊具のスペースが奥まっているので、空調が届かず暑いと感じることがあり、サーキュレーターなどを置いてはどうかと思った。               |            |
|                              | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 6  | 0   | ・勉強を出来る部屋がある。<br>・勉強をするタイミングで、別室で支援をすることもある。                                                                   | パーティションや室内用テント等設置による落ち着いて過ごせる空間の確保。                                          |            |
| 業務改善                         | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 6  | 0   | ・その都度話している。<br>・人事評価の中で半年に1回、職員それぞれが目標を設定し、それに対する自己申告の上、目標を達成できたか否か等振り返りを行いPDCAサイクルにつなげている。                    | 個々の目標だけでなく、職場全体の目標が定まることで、よりPDCAサイクルにもつなげると考えられることから、職場全体の目標設定も検討。           |            |
|                              | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 5  | 1   | ・保護者の意向等ははまだ拝見できていない。                                                                                          | 保護者からの評価を真摯に受け止め、業務改善につなげる。                                                  |            |
|                              | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 6  | 0   | ・その都度話し合い、改善に繋げている。<br>・個別面談を行い、設定した目標に対する評価を含め、職員の意見等を把握する機会を設けている。<br>・職員同士の仲も良く、その都度思いや考えを共有し話し合うことができています。 |                                                                              |            |
|                              | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | 2  | 4   | ・運営指導の結果等を踏まえ、業務改善に繋げている。                                                                                      |                                                                              |            |
|                              | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                    | 6  | 0   | ・講習を受ける機会があった。<br>・研修のDVDを視聴したり、個人でも行ける研修を紹介してくださっている。<br>・職員一人ひとりが研修を受けられる機会をいただいている。                         |                                                                              |            |
|                              | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 6  | 0   | ・公表している。                                                                                                       |                                                                              |            |
|                              | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 6  | 0   | ・適切にアセスメントを行い、計画を作成している。<br>・見学・体験時や利用契約時、時間をかけてアセスメントを実施、同アセスメントをもとに個別支援計画を作成している。                            | 保護者から聞き取った子どもや保護者のニーズや課題だけでなく、見学・体験時等こどもと直接関わった全職員で気付いたことを出し合い、支援計画を練り上げていく。 |            |
|                              | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 6  | 0   | ・毎週木曜日に職員間で会議を行い、共通理解ができています。<br>・会議に参加できない職員にも共有している。                                                         | 上記に同じ。                                                                       |            |
|                              | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 6  | 0   | ・毎週木曜日に職員間で共有し、参加がなかった職員も個人ファイルでいつでも確認できるよう工夫している。<br>・会議の際に職員の意見やこどもたちの様子を細かく聞いて支援計画を立てている。                   |                                                                              |            |
|                              | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 6  | 0   | ・学校での様子やボディチェック等を行いながら確認している。<br>・年齢に応じたアセスメント整理シートやスキル確認シートを活用し、こどもの適応状況を確認している。                              | 職員一人ひとりがこどもの適応行動の状況を把握、職員全員が適切な支援を行えるようにする。                                  |            |
|                              | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6  | 0   | ・ねらいに沿って具体的な支援内容で設定し、必要項目も適切に設定している。                                                                           | ・個別支援計画作成の研修受講等検討。<br>・支援内容をどう実行していくか等々、更に共通理解を深めていく。                        |            |
|                              | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 6  | 0   | ・活動プログラムを複数案立案し、その時の利用者に応じた活動を選択、チームで検討している。                                                                   |                                                                              |            |

|              |    |                                                                                    |   |   |                                                                                                                                                                                                              |                                                                              |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 適切な支援の提供     | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                           | 6 | 0 | ・固定化しないように毎日楽しいプログラムになっていると思う。<br>・ビジョントレーニング、ワーキングメモリトレーニング、公園遊びによる地域の他の子どもとの交流の機会の確保等様々な活動を取り入れている。                                                                                                        | 他事業所との連携等々により活動プログラムが固定化しないように知識を増やし、支援技術を高めていく。                             |
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 6 | 0 | ・こどもの人数など考慮しながらその都度支援内容も変えている。                                                                                                                                                                               | 全職員が、その活動の目的とねらいを意識して支援していく。                                                 |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 6 | 0 | ・休憩後の支援開始前には打ち合わせを行い、チームで連携が出来ていると思う。<br>・事前にどう動くか、誰と誰をペアにするか等チームで話し合っている。                                                                                                                                   | 支援内容、役割分担等更に詳細な打ち合わせを行い、連携を密にする。                                             |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 6 | 0 | ・職員間で共有し、個人ファイルでもいつでも確認が出来るようみんなに周知している。<br>・支援終了後には必ず振り返りを行い、感じたこと、気付いたこと等共有している。                                                                                                                           |                                                                              |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | 6 | 0 | ・日々の様子等々その日のことはその日のうちに記録を作成し、改善に繋げている。<br>・職員間で共有し、検証、改善をその都度行っている。                                                                                                                                          | 記録の記載にとどまらず、支援の検証や改善につなげていく。                                                 |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 6 | 0 | ・6ヶ月に一度モニタリングを行い、見直し、作成に繋げている。                                                                                                                                                                               | 6ヶ月を待たずとも、クリアしている目標があれば見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。                             |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 6 | 0 | ・出来ている。<br>・多彩な活動を用意して自ら選択する機会の付与や遊びを通して成功体験を積み自己肯定感を育む活動をしたり等工夫している。                                                                                                                                        | 5領域の視点を組み合わせ、柔軟に実施していきたい。                                                    |
| 関係機関や保護者との連携 | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 6 | 0 | ・自己決定が難しい時は選択肢を与え、選択できるように工夫しながら自己決定ができるような支援が出来ている。<br>・無理に活動に参加させようとはせず、こどもが選択し、自分の意思で参加できるよう見守ったり、必要な声かけを行いながら支援している。<br>・意欲的に参加できるように参加をしたり、宿題をしたりするとシールがもらえ、シールがたまると景品が貰える仕組み等を作り、楽しみながら参加できるように工夫している。 | 5領域の視点を組み合わせ、柔軟に実施していきたい。                                                    |
|              | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 6 | 0 | ・管理者が参画し、その後職員にも共有してくれている。                                                                                                                                                                                   | 会議結果を全職員に共有し、今後も支援の検証や改善を行っていく。                                              |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 6 | 0 | ・問い合わせの際等は積極的に連携をしていると思う。                                                                                                                                                                                    | 今後も関係機関と連携を図り、関係機関等と連携して支援を行う体制を更に整えていきたい。                                   |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 6 | 0 | ・学校からの行事予定表等により情報を共有し、それを職員に伝達している。<br>・行事予定による学校との情報共有や連絡調整は適切に行っている。                                                                                                                                       | 今後も学校等と情報を共有して連携を密にしていきたい。                                                   |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 6 | 0 | ・管理者が情報共有し、相互理解に努めている。                                                                                                                                                                                       |                                                                              |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 0 | 6 | ・また学校を卒業したこどもがいない。<br>・まだ障害福祉サービスに移行する卒業生がいない。                                                                                                                                                               |                                                                              |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 2 | 4 | ・分からない。<br>・指定相談支援事業所と連携を図っている。                                                                                                                                                                              | 今後更に連携を図り、現在取り組んでいる支援内容、また今後取り組んでいきたい支援内容等々について、指導・助言をしていただき、日々の支援に活かしていきたい。 |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。                                             | 5 | 1 | ・児童館等との交流はないが、公園に行った際には、地域の他の子どもと一緒に活動したりすることがある。<br>・公園で近隣の小学生と一緒に活動することがある。                                                                                                                                | 放課後児童クラブや児童館との交流はないことから、今後地域行事への積極的な参加や各種イベント等を通して活動する機会を増やしていきたい。           |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            | 6 | 0 | ・管理者が参加している。                                                                                                                                                                                                 | 今後、更に積極的に参加し、日々の支援につなげていきたい。                                                 |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 6 | 0 | ・送迎時等その都度様子などを話したり、チャット等で課題等を話す機会がある。                                                                                                                                                                        | 今後も定期的に保護者交流会を実施し、もっとたくさんの方に出席していただけるよう曜日や時間帯等検討を重ね、更に保護者の方と接する機会を増やしていきたい。  |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       | 0 | 6 | ・分からない。<br>・面談時等、求めに応じてアドバイス等実施しているが、家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会等は行っていない。                                                                                                                                       | 今後、家族等が参加できる研修等を行ってきたい。                                                      |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | 6 | 0 | ・契約時に管理者が必ず行っている。<br>・見学や保護者説明会の際に行っている。                                                                                                                                                                     | 今後も丁寧な説明と子どもたちや保護者に寄り添った支援をしていきたい。                                           |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 0 | ・6ヶ月に1回、面談などで保護者の方と話しをする機会を設けている。<br>・保護者の意見、子どもたちの強みや弱み等意向について話し合っている。                                                                                                                                      | 今後も子どもたちや保護者の方々に寄り添った支援をしていきたい。                                              |

|          |    |                                                                                            |   |   |                                                                                                                                                           |                                                                                                    |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 6 | 0 | ・必ず説明をし、同意を得ている。<br>・面談の上、個別支援計画の読み合わせを行い、同意を得ている。                                                                                                        | 今後も保護者の方々等が理解しやすい個別支援計画の作成に努めていきたい。                                                                |
|          | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                              | 6 | 0 | ・チャットや電話で問い合わせがあった際は面談などを行っている。<br>・保護者から相談があった際は時間を設け、少しでも保護者の気持ちが悪くなれば必要の助言や支援を行い、保護者に寄り添うことを意識している。                                                    | 相談しやすい環境作り、保護者の方々との人間関係の構築、現在の困りごと等、事あるごとに確認していきたい。                                                |
|          | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 6 | 0 | ・8月に保護者会を実施した。<br>・初めてだったため参加人数は少なかったが、今後も設けてほしい。                                                                                                         | 今後も保護者交流会を実施し、もっとたくさんの方々に出席していただけるよう曜日や時間帯等検討を重ね、更に保護者の方々と接する機会を増やしていきたい。                          |
|          | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 6 | 0 | ・今のところ、苦情を受けたという話は聞いた覚えがない。<br>・苦情は受けたことがない。                                                                                                              | 今のところ苦情はないものの、あった場合の対応の体制を整備の上、こどもや保護者の方々に周知し、迅速かつ適切に対応していきたい。                                     |
|          | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 | 0 | ・インスタグラムなどに掲載し、保護者も見られるようになっている。<br>・インスタグラム等で写真をたくさん投稿し、初めて見た人でも支援内容が分かりやすいように文章を考え、工夫している。ここの事業所に来たい！と少しでも興味を持ってもらえるように工夫している。<br>・1ヶ月ごとのスケジュールを公開している。 | 今後、年間、月間行事予定、イベントの開催情報、研修会の案内等々の通信を発行していきたい。                                                       |
|          | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 6 | 0 | ・SNS等で情報を発信する際は、顔を隠す等個人が特定されないように個人情報の取り扱いには十分留意している。<br>・不要になるとシュレッダーしている。<br>・利用契約時に保護者に対し個人情報の取り扱いについて書面を示しながら説明し、署名をいただいている。                          | 今後も、個人情報の取り扱いには十分留意し、個人情報の施設外への持ち出し禁止、個人情報鍵のかかる保管庫に保管する等を徹底していきたい。                                 |
|          | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 6 | 0 | ・配慮できていると思う。<br>・書面や連絡アプリを使用して通知し、周知及び理解しやすいように配慮している。                                                                                                    | 今後も、口頭・書面・連絡帳アプリ等を使用して、よりこどもや保護者の方々が周知及び理解しやすいように配慮していきたい。                                         |
| 非常時等の対応  | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 0 | 6 | ・知る限りでは、まだない。                                                                                                                                             | 各種イベント等を実施し、地域住民と交流する機会を増やしていきたい。                                                                  |
|          | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 6 | 0 | ・マニュアルもあり、周知できている。<br>・マニュアルもあり、職員間で共有できるようにしてくれているし、訓練も実施している。                                                                                           | ・いつ、どんな時でもすぐに動けるように訓練を重ね、もっと練度を高めていきたい。<br>・施設出入口に運営規程や4k種マニュアル等を設置しているが、家族等へは周知されていないため、周知していきたい。 |
|          | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 | 0 | ・定期的に必要な研修や訓練等を行っている。                                                                                                                                     | 職員間で話し合いながら必要な訓練を実施し、練度を高めていきたい。                                                                   |
|          | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 6 | 0 | ・契約後に保護者とのアセスメントにて確認し、その後他職員にも共有している。<br>・喘息発作時は水分を取らせる津職員間で周知し、発作が起こった際は送迎時保護者に報告をしている。                                                                  | 利用契約時のみならず、今後も保護者と連携を密にし、こどもの状況を確認していきたい。                                                          |
|          | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 6 | 0 | ・適切に対応している。<br>・クッキングの際は、特に注意をしている。<br>・利用契約時等書面にて稟議者より聞き取りを行い、配慮が必要な場合は職員間で周知している。                                                                       | 今現在、医師の指示書を必要とするような児童は在籍していないが、今後そのような自動が利用することになった場合は、医師の指示書に基づく対応をしていきたい。                        |
|          | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 6 | 0 | ・出来ている。                                                                                                                                                   | 今後も必要な研修や訓練を実施、振り返り等々を行い、十分な安全管理の中で支援ができるように努める。                                                   |
|          | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 6 | 0 | ・周知している。                                                                                                                                                  | 今後も家族等へ周知していきたい。                                                                                   |
|          | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 6 | 0 | ・再発防止のため、その都度職員間で話し合っている。<br>・職員間で共有し、室内では靴下を脱ぐ等再発防止に向けた方策を検討している。<br>・壁の角はぶつかる可能性も高いことから、なるべく角でこどもたちに背を向けないように立ったり等全員が工夫している。<br>・ヒヤリハットの書式を設けている。       | 書式の簡素化を検討し、発生の際はすぐに書き出せるようにし、必要に応じた対応策等職員間で話し合っていきたい。                                              |
|          | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 6 | 0 | ・研修を行っている。<br>・新規採用時及び少なくとも年に1回は研修を実施し、虐待防止に努めている。                                                                                                        | 定期的に指針やマニュアルの見直しを検討し研修を実施していく。また、外部研修にも積極的に参加していきたい。                                               |
|          | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 6 | 0 | ・今はやむを得ない身体拘束が行われるようなこどもはいないので、個別支援計画への記載もない。                                                                                                             | 定期的に指針やマニュアルの見直しを検討し、こどもや保護者の方々に事前に十分説明をして了解を得た上で、個別支援計画に記載していくよう努める。                              |